

第2回発電用原子炉施設におけるデジタル安全保護系の共通要因故障対策等に関する
検討チーム（非公開）議事概要

1. 日時：令和元年10月30日（水）17：00～18：00
2. 場所：原子力規制委員会 原子力規制庁内会議室
3. 出席者：
原子力規制委員会 山中委員
原子力規制庁 大村審議官、山田核物質・放射線総括審議官、遠山課長、西崎企画調整官、川崎安全管理調査官、丸山安全規制管理官（核セキュリティ担当）、他9名
原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。） 3名
関西電力 6名
4. 議題：
（1）セーフティとセキュリティのインターフェイスについて（非公開）
5. 配布資料：
資料1 セーフティとセキュリティのインターフェイスについて（原子力規制庁）（非公開）
資料2 国内原子力発電所における特定設備の現状について（原子力エネルギー協議会）（非公開）
資料3 特定設備の機能制限に係る弊社見解について（関西電力）（非公開）
6. 議事概要：
（1）冒頭、山中委員から、本会合の議題では、核物質防護に関する情報を取り扱うため、非公開で開催することを確認した。
（2）原子力規制庁から資料1を用いてセーフティとセキュリティのインターフェイスについて説明を行った。
（3）ATENAから資料2を用いて国内原子力発電所における特定設備の現状について説明があり、質疑応答を行った。
（4）関西電力から資料3を用いて特定設備の機能制限に係る見解について説明があり、質疑応答を行った。

以上